

『すまいる通信』配信のお知らせ

毎月20日に
配信します



『すまいる通信』は、あらかじめご登録いただいた方にパソコンや携帯電話などのメールを利用して、支援に役立つ情報やイベントをお知らせするサービスです。ぜひご利用ください。

(情報利用料は無料。ただし通信料は自己負担となります)

新規登録、登録内容の変更・登録の解除

下記のアドレスまたは右のQRコードより案内に従い、空メールを送信してください。

▶ <http://www.setagaya-mail.jp/top.html>



〈配信元・問合せ先〉

世田谷区障害福祉担当部 障害者地域生活課 TEL 03-5432-2227 FAX 03-5432-3021

世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」

開所日時

月～土曜日(祝日及び年末年始を除く)
午前9時～午後6時

利用方法

世田谷区在住の方を対象としています。
相談・療育をご希望される場合は、まず、世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」にお電話ください。

TEL 03-5727-2236(相談専用)

〒157-0074 世田谷区大蔵 2-10-18
大蔵二丁目複合型子ども支援センター 2・3階
TEL 03-5727-2235(代表)
FAX 03-5727-2238
URL <http://www.ryo-iku.jp>

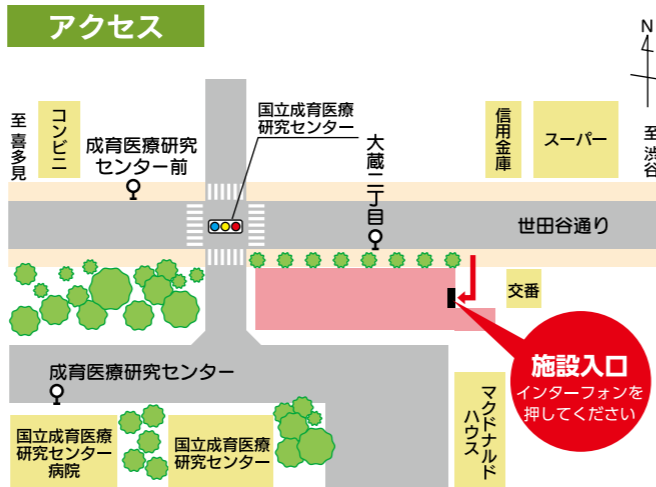
業務受託：社会福祉法人 トボスの会

〒123-0844 足立区興野2-18-12
TEL 03-5837-4830 FAX 03-3890-8121

編集後記

あけましておめでとうございます。年が明けると、いよいよ新年度が近づいてきます。新しい環境を控え、ドキドキしているお子さんや保護者の方もいらっしゃるかもしれません。「子どものミカタ・発達のミカタ」は今後もシリーズとしてご紹介していきます。お子さんの発達の機会を保障し、安心して過ごせる環境を作るためのヒントになれば幸いです。本年も「Gpressせたがや」をよろしく願いいたします。

アクセス



「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

東急バス・小田急バス

〔渋24〕 成城学園前駅 ↔ 渋谷駅

東急バス

〔都立01〕 成城学園前駅 ↔ 都立大学駅北口

〔等12〕 成城学園前駅 ↔ 等々力操車所

〔用06〕 成城学園前駅 ↔ 用賀駅

小田急バス

〔渋26〕 調布駅南口 ↔ 渋谷駅

東急コーチ

〔玉31・32〕

二子玉川駅 ↔ 成育医療研究センター

渋谷方面行きのバスにご乗車の場合は「成育医療研究センター前」で下車。東急コーチ、成城学園前駅行き、調布駅南口行き方面のバスにご乗車の場合は「大蔵二丁目」で下車。
※専用駐車場はありません。

Gpress せたがや

第32号
2018
1月発行

「ジープレスせたがや」
<http://www.ryo-iku.jp>
GpressのGは愛称「げんき」のGです。

第2回 子どものミカタ・発達のミカタ

子どもたちは、「人と関わりたい」「こんな活動をしたい」といったさまざまな思いを持っています。

私たちはその気持ちを育むために、このようなことをめざして関わっています。

成功体験を
しっかり積む

失敗しても
再チャレンジ
する力をつける

失敗に
寄り添ってくれる
人がいる

困ったときに
助言をもらえる
人がいる

今号では、「安心できる人がそばにいる」、「楽しめる活動を増やす」を取り上げ、エピソードを交えて中面にてご紹介いたします。

安心できる人が
そばにいる

楽しめる活動を
増やす

「げんき」では、発達障害に関する全般的なご相談をお受けしています。

まずはお電話ください

03-5727-2236 (「げんき」相談専用番号)

子どものミカタ・発達のミカタ

「げんき」では、相談・療育に加え、地域支援や保護者支援などを通じて、周囲の人々が子どもの味方となるよう子どもの見方・発達の見方をご紹介します。

安心できる人がそばにいる

Aちゃんは年中さんの女の子です。昨年の運動会では、練習やたくさんの方が集まる本番に参加することができませんでした。

今年も運動会の時期が近づき、Aちゃんもパパやママもドキドキしていました。



運動会の練習が始まりました。Aちゃんははじめ、みんなの練習を見ていましたが、Bちゃんが手をつないで一緒に走ることに誘うと、だんだんと練習に参加することが増えていきました。そして、練習を重ねるにつれ、Bちゃんの隣を手をつなぐように走れるようになっていきました。



そんなとき、Aちゃんには、Bちゃんというお友だちができました。

先生は、外遊びからお部屋に戻ってくる時に、「いっしょに戻ってきてね」と声をかけたり、普段の活動から2人をペアにしたりするなど、お互いの関わりを増やしていきました。



迎えた運動会当日、Aちゃんは緊張した面持ちでしたが、Bちゃんの隣を最後まで走りきることができました。

AちゃんもBちゃんも、パパもママも先生も、みんなの笑顔がはじけた瞬間でした。



新奇場面（行事やその練習などのいつもと違う活動や場面）では変化が苦手なお子さんにとって不安が高まりやすくなります。そのようなときはスケジュールや活動内容などを“見通しが持てるようにわかりやすく伝える”ことが安心して活動に取り組める要因になることがあります。例えば、言葉で説明を聞くよりも視覚的な理解が得意なお子さんには“絵や図を使って説明し見通しを立てやすくする”ことが支援につながります。

例のように“安心できる人がそばにいる”ことも不安を低減するための大切な環境の1つと考えられます。その人は保護者や先生など、お子さんの周囲にいる大人や、お友だちである場合があります。今回は安心できるお友だちがいる環境の中で頑張ることができたAちゃんのエピソードをご紹介します。

解説

楽しめる活動を増やす

Cくんは、小さい頃から図鑑や理科の本が好きで科学分野に関心がありました。

そんなCくんでしたが、小学校に通い始めると集団行動が苦手なために先生やお父さん、お母さんに叱られてしまうことがたびたびありました。そして、そんな日が続くうちに、だんだん元気がない様子が増えていきました。



小学校4年生になり、習い事として科学教室に通うことになりました。

試験管などの様々な器具を使った実験や科学について話す時間など、大好きな活動が広がっていきました。また、科学の話为满足いくまで話せるお友だちや先生にも出会えました。



学校でうまくいかず、しょんぼりする日もありますが、科学教室のある日は、楽しく活動に参加し、翌日には気持ちを切り替えて学校に通うことができています。



学校や家庭でうまくいなくても、余暇活動など気持ちを切り替えて楽しく過ごせる場所や時間を持つことは大切です。また、日常では得られない経験をすることで本人の得意な分野を伸ばしたり、意外な才能が発見できるかもしれません。

テレビゲーム（携帯ゲーム）が好きなお子さんも多いですが、一人で没頭するゲームよりも、本人の負担にならない範囲で他者とコミュニケーションを持つ活動の方が発達的にも良いと考えられます。Cくんにとっては関心のある科学教室の活動が生活全体の安定や人間関係の広がりにつながりました。

解説